

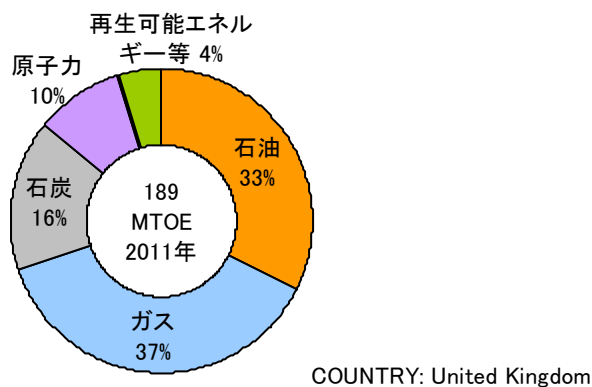
2-2 英国

1. サマリー

1. エネルギー事情

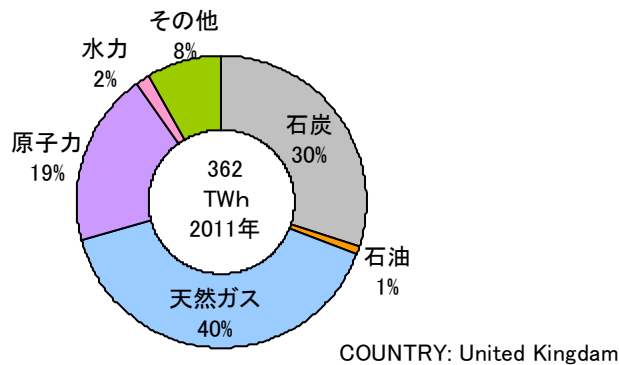
- (1) 一次エネルギー供給量(2011年) : 189 百万 TOE (日本の 41%)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量(2011年) : 3.03 TOE (日本の 84%)
- (3) エネルギー自給率(2011年) : 68.7%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量(2010年) : 483.5 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 42%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量(2010年) : 7.78CO₂ 換算 ton (日本の 87%)
- (6) エネルギー源別可採年数(2011年末) : 原油 7.0 年、天然ガス 4.5 年、石炭 12.0 年

一次エネルギー供給構成 (2011年)



(出所) IEA, Energy Balances of OECD countries 2012 Edition

発電電力量構成 (2011年)



(出所) IEA, Energy Balances of OECD countries 2012 Edition

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 2008年10月、Gordon Brown 首相は、密接に関係し合うエネルギー供給と気候変動対策について、より効率的に対応すべく省庁再編を行い、ビジネス・企業・規制改革省（DBERR：Department for Business, Enterprise and Regulatory Reform）からエネルギー政策を、環境・食料・農業省から気候変動政策に関わる大部分の機能を切り離し、新たにエネルギー・気候変動省（DECC：Department of Energy and Climate Change）を設立した。2010年5月の政権交代により、エネルギー・気候変動大臣はChris Huhne氏が務めていたが、自身の交通違反による不祥事を巡り2012年2月に辞任を表明、現在はEdward Davey氏が大臣を務める。

(2) 基本政策

- 英国のエネルギー・環境政策の長期的な課題は、以下の2つである。
 - 二酸化炭素排出量の削減による、英国および世界の気候変動問題への対応
 - 安定的でクリーン、かつ適正な価格のエネルギー供給の保証

(3) 最近の動向

- エネルギー気候変動省は、2012年5月22日、以下の項目を軸としたエネルギー法案を議会に提出したと発表した。同法案は、①低炭素電源の固定価格買取制度やキャパシティ市場の創設を中心とした電力市場改革、②ガス・電力市場規制庁（Ofgem）の機能の明確化および規制枠組みの強化、③独立した規制機関として法定の原子力規制局（ONR）の設立、④洋上風力発電事業者による本土との関係線使用許可、⑤政府の石油パイプラインおよび備蓄システムの売却等からなる。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 原子力関連では、日本の電力会社が、ウラン濃縮や使用済み燃料の再処理等の業務を、英国（BNFL）に委託している。また、2012年4月には、David Cameron 首相の来日時に首脳会談を実施し、民生用原子力協力の枠組みについて合意した。除染及び廃炉について、知見・経験及び技術を共有する他、民生用原子力活動における二国間協力を強化するため、高いレベル（課長級又はそれ以上）での年次対話を開始することを決定した。
- 2012年10月、日立製作所は、英国の原子力発電事業開発会社である Horizon Nuclear Power Ltd. について、同社株主の E.ON、RWE から買収することを決定し、発行済み全株式に対する売買契約を締結した。また、建設プロジェクトの計画・推進に向けて、Babcock International、Rolls Royce、カナダの建設エンジニアリング会社 SNC-Lavalin 社と協力覚書を締結した。同プロジェクトでは、Wylfa および Oldbury の2箇所において、1,300MW級の原子力発電設備を2-3基建設する予定で、このうち最初の発電所は、2020年代前半の運転開始を目指すとしている。

2. 主要エネルギー指標

(2011 年)

(1)	一次エネルギー総供給量	189 百万 TOE
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	3.03 TOE/人
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.08 TOE/千\$
(4)	エネルギー自給率	68.7 %
(5)	エネルギー起源 CO ₂ 排出量 (2010 年)	483.5 百万 CO ₂ 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO ₂ 排出量 (2010 年)	7.78 CO ₂ 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率	
	石炭	16.1 %
	石油	32.6 %
	ガス	37.1 %
	原子力	9.5 %
	水力	0.3 %
	再生可能エネルギー等	4.4 %
(8)	エネルギーの輸入依存度	31.3 %
(9)	石油の輸入依存度	13.6 %
(10)	輸入原油の中東依存度 (2011 年)	0.3 %
(11)	原油輸入先 (2011 年)	
	第 1 位	ノルウェー
	第 2 位	ロシア
	第 3 位	ナイジェリア

(出所) : (1)~(4) および (7)~(9) は IEA, Energy Balances of OECD countries 2012 Edition

(5)~(6) は IEA, CO₂ Emissions from Fuel Combustion, 2012 edition

(10)~(11) は IEA, Oil Information, 2012 edition